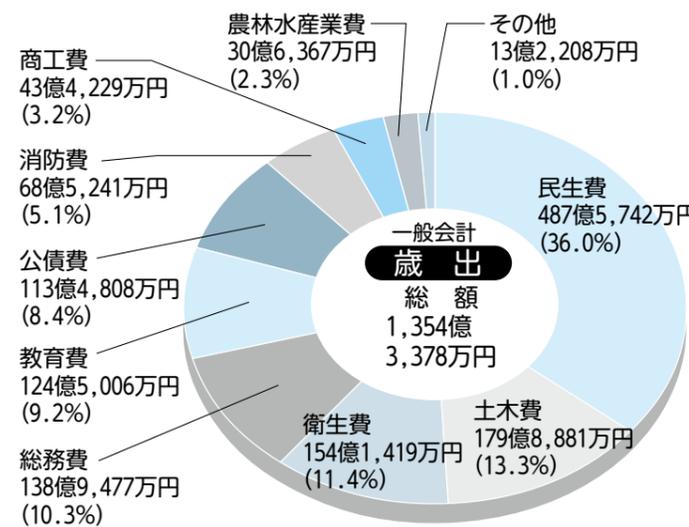
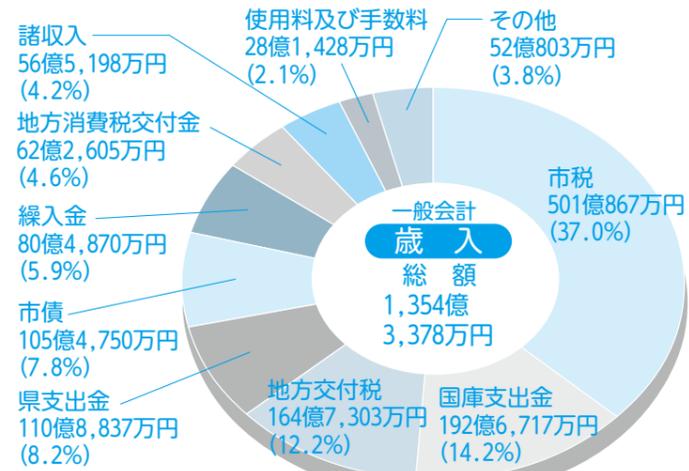


※表示単位未満を四捨五入しており、積み上げが合計と一致しない場合があります。
 ※一般会計歳出予算額（性質別）の内訳は、市ホームページをご覧ください。



用語説明

- 歳入**
- 市税 市民の皆さんや法人が市に納めるお金
 - 国庫支出金 特定の目的のために国から交付されるお金
 - 地方交付税 一定水準の行政サービスを提供するため、国から交付されるお金
 - 県支出金 特定の目的のために県から交付されるお金
 - 市債 道路や学校などの整備を行うために借入のお金
 - 繰入金 各種基金から繰り入れられるお金
 - 地方消費税交付金 県税である地方消費税のうち、市に交付されるお金
 - 諸収入 市の預金利子や貸付金の元金収入など、ほかの歳入には含まれないお金

歳出

- 民生費 高齢者・障がい者・児童などの福祉、保育所の運営などに使われるお金
- 土木費 道路・住宅・公園の整備などに使われるお金
- 衛生費 各種検診や予防接種、ごみ処理などに使われるお金
- 総務費 市税、戸籍、選挙関係、そのほか一般的な管理事務に使われるお金
- 教育費 学校教育や文化・スポーツ振興などに使われるお金
- 公債費 借入金（市債）の返済に使われるお金
- 消防費 消防・水防・災害対策などに使われるお金
- 商工費 商工業や観光の振興などに使われるお金
- 農林水産業費 農林水産業の振興などに使われるお金

平成30年度の当初予算決まる

本年度の当初予算は、復興の先を見据えながら、能な行政運営の確立の三点を基本方針に掲げて、年度間の見通しに立った予算編成を行いました。「めざしていくいわきの姿」の実現に向け、引き続き復興と創生を力強く推し進めるとともに、市民の皆

お問い合わせ
 財政課財政経営係
 ☎22・7420

総額 2,927億4,444万円
 (前年度比8.0%減)

一般会計	1,354億3,378万円 (前年度比6.3%減)
特別会計	910億3,101万円 (前年度比10.3%減)
企業会計	662億7,965万円 (前年度比8.1%減)

国民健康保険事業 318億7,285万円
 後期高齢者医療 38億8,139万円
 介護保険 302億3,194万円
 母子父子寡婦福祉資金貸付金 1億6,017万円
 土地区画整理事業 29億506万円
 卸売市場事業 3億1,348万円
 競輪事業 216億3,960万円
 財産区（5財産区） 2,652万円

水道事業 172億3,445万円
 病院事業 330億4,491万円
 下水道事業 154億739万円
 地域汚水処理事業 1億4,354万円
 農業集落排水事業 4億4,937万円

市議会2月定例会を開催

いわき市議会二月定例会が、二月二十二日から三月十四日までの二十一日間の会期で開催されました。議会では、総額二千九百二十七億四千四百四十三万九千円に上る本年度の当初予算などが審議され、七十七議案が可決・同意されました。



市長からの行政報告

○第九回いわきサンシャインマラソンについて
 全国から九千四百五十六人のランナーを迎え、過去最大規模の開催となりましたが、協賛企業や関係団体、市民ボランティアの皆さんの支援・協力などにより、スムーズな大会運営ができたことを報告しました。

○第八回太平洋・島サミットについて
 第八回太平洋・島サミットいわき実行委員会、各国首脳や配偶者を対象とした独自の視察・体験プログラムを取りまとめ、国に提案したことを報告しました。今後、開催地としての機運を高めるとともに、国や県と連携しながら万全の体

主な議案

○いわき市常磐湯本財産区管理条例の制定について
 将来に向けた健全な財産区運営に資するため、議会制から管理会制へ移行することに伴い、同財産区管理会の設置や、組織、運営について必要な事項を定める

○災害公営住宅家賃減免制度の拡充について
 災害公営住宅に三年以上入居し、一定の基準を超える収入がある方が、家賃減免の対象となることなどから、家賃負担の激変緩和を図るため、同制度の拡充を行うことを報告しました。

主な補正予算

○平成29年度予算の最終的な整理など
 ・一般会計 = △14億5,135万円
 ・特別会計 = 3億7,021万2千円
 ・企業会計 = △20億3,185万1千円

○いわき市火葬場条例の改正について
 施設の老朽化に伴い改築を進めている勿来火葬場について、全面供用開始に合わせて名称を「いわき市いわき南清苑」とし、施設利用に係る使用料を改めるため、所要の改正を行いました。

○いわき市病院事業の設置等に関する条例の改正について
 施設の老朽化などに伴い改築を進めている総合磐城共立病院について、新病院の名称を「いわき市医療センター」とするとともに、有料個室の特別室加算料を設定するほか、分娩介助料を改めるため、所要の改正を行いました。

○副市長選任の同意を求めることについて
 ・渡邊仁（前役職 県総務

○常磐湯本財産区管理委員選任の同意を求めることについて
 ・安齋哲男（新任）
 ・石川守江（新任）
 ・小野佐内（新任）
 ・加藤好喬（新任）
 ・草野昭男（新任）
 ・小井戸英典（新任）
 ・武藤政昭（新任）

ふるさとといわきの力強い復興の実現

○四ツ倉駅^{こせん}跨線人道橋整備事業 1億3,201万円

四ツ倉駅周辺の既成市街地と、災害公営住宅や復興公営住宅の建設に伴って居住人口が増加している新たな市街地との連携強化を図るため、跨線人道橋を整備します。

○津波被災地域企業等立地支援事業 1,470万円

津波被災地域において、事業所の立地を促進し、経済的または社会的基盤や市民の皆さんのなりわいの再生を図るため、事業を行う方に対して奨励金を交付します。

○防災情報システム整備事業 5,011万5千円

雨量や水位などの各種気象情報を解析し、土砂災害危険予測に係る基準値超過箇所などを自動通知することで、的確かつ迅速な避難判断などを支援するシステムを構築します。

○自動車避難対策推進事業 2,168万3千円

津波災害時における自動車による避難ガイドラインで定めた対策のうち、自動車による避難を踏まえた避難誘導サインの設置など、具体的な検討を事業化するとともに、必要に応じて津波災害時における自動車避難検討部会を開催します。

○心の復興事業補助金 54万6千円

震災による被災者が他者とのつながりや生きがいを持って前向きに生活できるよう、心の復興事業に取り組む支援団体に対して補助を行います。



居住人口が増加している四ツ倉駅の西側地域

将来に向けたまちづくりの推進

○高齢者運転免許証自主返納促進事業 528万9千円

高齢者の運転免許証の自主返納を促進するため、運転免許証を自主返納した75歳以上の高齢者に対して、バスカードや公共施設利用券などを交付し、交通事故発生防止を図ります。

○デジタル教科書・教材運用事業 851万8千円

各教科の特性に応じて、ICT（情報通信技術）から得るさまざまな情報を主体的に活用し、問題解決や新たな価値を創造する能力を養うため、デジタル教科書を整備します。

○英語教育推進事業 1億6,993万7千円

外国語指導助手を小・中学校、幼稚園に派遣することで、早期に英語に慣れ親しませ、国際感覚や英語によるコミュニケーション能力の基礎を身に付けさせるとともに、実践的コミュニケーション能力の育成を図るなど、国際理解教育を推進します。

○自転車道路網整備事業 4,200万円

自転車を活用した健康増進やレクリエーション活動の場を提供するとともに、復旧・復興事業で整備される防潮堤などを有効に活用し、沿岸域に立地する観光施設を結ぶサイクリングロードを整備します。

○公共施設老朽化対策等 65億1,410万円

各清掃センターをはじめ、道路、公園施設などの長寿命化や、本庁舎や市文化センターの耐震化などを進めます。



カードなどを使用した分かりやすい授業で英語教育を推進



自転車イベントも行われる沿岸域にサイクリングロードを整備

魅力あふれるいわきの創生

○いわきネウボラ（出産・子育て総合支援）事業 4億3,268万8千円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、支え合いの仕組みとして、いわきネウボラを実施します。

【主な事業】

・養育支援訪問（専門的相談支援）事業 235万2千円

産前・産後に養育支援が特に必要であると判断される家庭に対し、保健師・助産師・看護師などが居宅を訪問し、専門的相談支援を行います。

○放課後児童健全育成事業（児童クラブ運営／施設整備） 7億1,334万8千円

保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後の適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。

○スポーツを軸とした地域創生推進事業 2,229万6千円

将来的なスタジアムを軸としたまちづくりを見据え、スタジアム整備に向けた事業可能性調査を実施します。

○共創型地域交通モデル事業 1,596万3千円

中山間地域などにおける交通弱者の移動手段を確保するため、行政や民間事業者などが支援を行い、地元住民組織が主体となった持続可能な交通システムを構築します。

○磐城平城の歴史を後世に伝える事業 153万2千円

磐城平城本丸跡地を軸に、歴史や文化によるまちづくりを推進するため、文献等調査会議や戊辰戦争150周年記念事業を開催します。

○東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業 1,692万2千円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、さまざまな事業を実施します。

【主な事業】

・聖火リレー誘致推進事業 200万4千円

本市が聖火リレーのルートとなるよう、樫葉町・広野町と合同で（仮称）被災地復興トーチリレーや聖火リレーポスター展を開催するなど、機運醸成を図りながら誘致につなげるイベントを開催します。

○世界水族館会議支援事業 1,000万円

11月に開催される第10回世界水族館会議に向け、実行委員会に対し、事業費の一部を負担します。

○太平洋・島サミット開催支援事業 700万円

5月に開催される第8回太平洋・島サミットに向け、実行委員会に対し、事業費の一部を補助します。

○風力関連産業推進事業 106万3千円

陸上風力発電設備の大量導入や浮体式洋上風力発電システムの実証研究の事業化を見据え、地域産業の高度化や人財育成に向けた取り組みを進めます。



スポーツで本市を活性化



第10回世界水族館会議の会場となるアクアマリンふくしま

当初予算
30年度

魅力あふれるいわきの復興・創生
予算の主な取り組み

特集

特集